



R. I DISTRICT 2650
ROTARY CLUB OF

MARUOKA

会長 藤本 豊 幹事 水上智愛

創立 昭和53年3月21日 承認 昭和53年4月6日
http://www.maruoka-rotary.com/ (No.14497)

今回例会 第1390回
平成18年8月2日(水)
外部卓話
勝山市野向町
増田公輔様
『日本兵の心情一冊に』



率先しよう



Mutual Trust

奉仕の感動を分かち合おう。

次回例会 第1391回
平成18年8月9日(水)
会員卓話
『なぜ親睦活動が大切か』
横山親睦活動委員長
『音楽は心を和やかにする』
中澤ソング委員長

ビル・ボイト R・I 会長 平井義久ガバナー

今日のローターリーソング



『君が代』
『奉仕の理想』

出席委員会

会員数	出席	欠席届有	欠席届無	メークアップ	出席率%
36	31	3	0	1	94.17

会長報告 (7/26)

本日のお客様は 郷土歴史研究家 高島正夫様です。高島様より『樺太経営史』の本を頂いております。事務局におきますので皆さんで読んで下さい。先日の役員披露会にはたくさんの参加ありがとうございました。親睦委員の皆さんには大変お世話になり、ありがとうございました。まだ梅雨明け宣言がなされていません。世界的に異常気象で日本各地はもとより中国、韓国でも大きな災害が出ているようです。早くスッキリした夏がきたらと思います。



ローターリー財団特別寄付(個人寄付)・・・(ABC順・敬称略)
藤本・林田(数)・東・水上・下田・高島
(本日7件 19,000円 本年度累計142,000円)

米山記念奨学会(個人寄付)
藤本・林田(数)・東・池田・川端・金・水上・西野・下田・高島・山田・山下
(本日12件73,000円 本年度累計109,000円)

ニコニコ箱・・・(ABC順・敬称略)
藤本—高島正夫様本日卓話ありがとうございます。又先日の役員披露に多数の参加ありがとうございました。
林田(千)—高島さんより
川端—友情に感謝して
水上—高嶋様本日は卓話有難うございます。宜しくお願いします。
野尻—早退ですが発表しないで下さい。
奥村—入会候補者をご紹介下さい。
下田—高島正夫様卓話有難うございます。
釣部—いつもニコニコ、ニコニコ箱へ
山田—高嶋様卓話ご苦勞様です。
山下—宅建協会理事会出席の為早退させて頂きます。
頑張れ中日ドラゴンズ!
横山—先日の新役員披露パーティーに多数のご参加有難うございました。

幹事報告

- ※ ガバナー事務所 夏期閉所のお知らせ 8/14~8/16 まで
- ※ 丸岡青年会議所創立35周年記念大会のご案内 8月20日(日) 記念式典 14時~ 会場:ハートピア春江にて 藤本会長出席
- ※ 第18回「平井義久ガバナー杯」野球大会のご案内 10月21-22日福知山RCホストで開催します。
- ※ 国際青少年交換委員会より 2005-2006年度 年間活動報告 ロータリアン誌、武生RC会報

第1389回例会 委員会報告 (7月26日現在)

横山親睦委員長

先日は新役員披露懇親パーティーにたくさんの方が参加頂き有難うございました。8月11日三国花火鑑賞会の出席の返事がまだ来ていない人がいますので 席に余裕がありますので参加をお願いします。

奥村会員増強委員長

メンバーBOXの中に資料を入れさせていただきました。資料を基に入会希望者を紹介していただけたらと思います。是非、40名にしたいと頑張っておりますので、宜しくお願い致します。

本日の合計	本日迄の累計	前年度との比較
21,000円	244,000円	252,000円

県内クラブ
例会日

月曜日
福井東 福井厚生年金
敦賀西 サルビア 敦賀
PM7:00 点鐘

火曜日
福井南 織協ビル8F
勝山 市民活動センター
武生 武生商工会館
若狭 小浜商工会議所
福井フェニックス リンクトンホテル
PM6:30 点鐘

水曜日
福井北 リンクトンホテル
敦賀 北陸銀行敦賀支店
鯖江北 神明公民館
福井水仙 神明神社
PM6:30 点鐘
丸岡 JA花咲ふくい丸岡支店

木曜日
福井 ユアーズホテル
武生府中 JA越前たけふ

金曜日
福井西 グラントリア
三国 三国観光ホテル
大野 リブレ 4F
鯖江 鯖江商工会館
あじさい リバーシエアクラブ

林田千之プログラム委員長

2006—2007 年度 最初の外部卓話です。

新聞に『樺太経営史』の事の記事が出ていまして興味を持って連絡をしてみました。高島正夫さんの曾おじいさんが書かれた本だそうです。

美山の水害の時、区長をされていたそうです。今日はお礼もかねてその時の事や『樺太経営史』の話をして下さるそうです。



今の時代にも通じることは固定観念で見るとはなく視野を広げた見方をすると面白いのではないのでしょうか。樺太の開拓において二宮尊徳が幕府よりの要請で手がけましたが上手くいかなかった。という事が記されています。開拓は非常に困難であったことが偲ばれます。私が歴史に興味を持ったのは20歳の頃、三上かずお先生が出された「幕末の越前藩」という本とであったことです。越前藩は当時苦しかった内情の中から家庭において百姓は農閑期何もしないのではなくて藁があれば草鞋を作る。という加工ということを奨励している。目の前にある藁を縄、むしろなどに加工して副収入を得る事を奨励しています。親が事業に失敗し非常に困難な生活になりメガネ会社に勤めましたが、目の前にある山に植林をして価値の無い山から有益な山に変える事はしました。会社が終わってから、自分で柴を刈り、草を刈り手入れをしました。賢者は歴史から学ぶとありますが愚者でも歴史から学ぶ事は非常に多いです。一つのことを思えば

何か役に立つ事はあるのではないのでしょうか。20年前に植えた木は大きくなりこれでログハウスでも建てたいと思っています。

出来る出来ないではなく気持ちが大事なのではないのでしょうか。気持ちがあれば次のステップになります。

一昨年、当時折立地区の区長をしていました。7月18日は草刈をする予定でした。何時までやまない雨に下の地区が水が付き始めました。先ず谷川が氾濫を起こし、裏山が崩落を始め、非常に危険という事で避難を始めました。自分たちの地区でも川が普通じゃないのですぐに避難をして欲しいと言いにいきました。下の地区ではもう水がつ

いていましたので炊き出しの準備をするようにしました。たまたま4月に予行練習をしていたのでスムーズにすることが出来ました。増水は11時ごろには治まりましたが、それから何時間かあとに福井市が氾濫したということです。上流で何かがあったら下流では何かがあるという事です。携帯の基地がやられてしまい情報が全く入らず孤立した状態になったことです。交通と通信は3日ほど無かったです。一番困った事は人工透析している方がおり命に関わる事なので心配しましたが偵察に到着した自衛隊のヘリコプターが気づき搬送されました。幸いな事にも私たちの部落では死傷者が出なかった事です。死者が出たら復旧は出来なかったと思います。人命は最も大切な事です。



卓話

福井縣人 樺太經營史

高島正夫様

私は歴史家でも何でも無い、サラリーマンですが、福井市に合併になり何か残しておくものが無いかと思っていました。曾祖父が歴史家であり大野郡史、今立郡史、福井県史に編纂に携わっていました。私は美山町と池田町との間にある境寺というところの足羽川の上流の山深いところにすんでいます。この本が出されたのは93年前大正元年です。交通も通信も不便な時このような本が出されたのか興味を持ちまして、曾祖父が書きました『樺太経営史』です。

一昨年水害があった時に区長をしていまして、何か残して於かなければという気持ちになり出版する事になりました。

この本の中で一番面白いのは大野藩が「大野丸」という帆船を持って北海道と交易をしていたという事です。山深い所にある藩が全く発想を変えて海、それも当時未開発だった樺太という地を選び屯田をするということです。

この本は昔の言葉で書いてありますので、私も読めません。百年前の言葉で文章を書いてあっては本当に読めません。

早川彌五左衛門という方がおられ、この方が実際に大野藩より樺太の探検、屯田を命ぜられて努力された方です。

1859年この時代はアメリカの船などもロシアの近辺まで来ていましたし外国の船が日本海側まで入っていました。日本国中が流動化していた時代だったのでしょうか。

ロシアの南下と日本の幕府との接点が大野藩が手がけた屯田、漁業ではなかったかと思えます。

早川彌五左衛門は55歳で上味見小学校、61歳で下味見小学校と赴任しています。息子さんが下味見の初代の校長です。

当時の世界情勢を知る貴重な人々が自分たちの地区にいたということが祖父に影響を与えたのではないかと思います。

樺太はロシアの領地となっていますが、樺太を探検したという事で日本の国土として認められる。明治8年には千島列島と交換条件でロシアに渡ったという経緯があります。大野藩の役割は非常に重要だったということです。

北海道へ移住された方は非常に多いです。貧しかった事もありません。



事務局 〒910-0254 Tel (0776) 67-0410 / Fax (0776) 67-4811

福井県坂井市丸岡町一本田34-7 JA花咲ふくい 丸岡支店2F

例会場 JA花咲ふくい 丸岡支店3F

例会日 毎週 水曜日 12時30分 会員数 37名

会報委員長 高尾 誠 副委員長 稲葉 治

委員 川端克治 下田重道